

# 研究計画書 チェックリスト

## 【内容構成】

### 1. 研究テーマ

- 研究内容をあらわした適切なタイトルになっている

### 2. 研究内容

- 問題意識(なぜこの研究をする必要があるのか)が、書かれている
- 研究の意義(自分の研究が学問的・社会的にどのような貢献ができるのか)が、書かれている
- 先行研究に依拠しながら、自分がこれまで何を明らかにしてきたのか/何が明らかにできなかったのかを、具体的に述べられている

### 3. 研究目的

- 問い(研究で明らかにしたいこと)が明確に記述されている

### 4. 研究方法・計画

- 期間、対象、データの収集方法、分析方法について詳細に記述されている
- 修士2年間/博士3年間で、具体的に、いつ何をするのか、書かれている

### 5. 倫理的配慮 ※ヒトを対象にした研究をする場合

- 書かれている

### 6. 参考文献・引用文献

- 過不足なく正確に挙げられている
- APAスタイル、MLAスタイル、シカゴ・マニュアル・オブ・スタイルなどに沿って並べられている

## 【言語表現】

- 文章全体が「だ・である体」、かたい表現で統一されている
- 多様な表現が適切につかわれており、主観的な表現が含まれていない
- 意味が伝わらない文やわかりにくい文がない
- 表記が統一されている
- 専門用語を使用する場合は、定義または説明されている  
(専門用語を専門用語で説明しない)

## 【形式】

- 「直接引用」の場合は、一字一句が正確に書き写されている
- 引用部分がどこからどこまでか、読み手も理解できる
- 図表は読み取りやすい形になっている
- 図表の内容は、適切に説明されている

## 参考文献

- 大阪大学外国語図書館箕面キャンパスラーニングcommonsるくすTAチーム  
(2016)「研究計画書の書き方 [2015\\_Research plan.pdf \(osaka-u.ac.jp\)](#)  
(2024年6月12日閲覧)